〇学長の永安です。皆様におかれましては本学が計画を進めておりますＢＳＬ-４施設の整備・運用に当たりまして、日頃より様々なご議論をいただきまして、誠にありがとうございます。

〇長崎大学では現在、本学ＢＳＬ－４施設に特定一種病原体等を搬入する計画を進めております。本日はこのことについて、私から直接ご説明申し上げたく、この地域連絡協議会に参加させていただきました。

〇本学ＢＳＬ－４施設は、令和７年１月に厚生労働大臣から特定一種病原体等所持施設としての指定を受けました。その後、厚生労働省及び警察庁の監督のもと、将来の特定一種病原体等の搬入に向けたステップとして、施設を稼働させながら職員の習熟訓練などに努めてまいりました。このことについては、本協議会において、本学から逐次、情報提供、意見交換を行わせていただいているものと承知しております。

〇このたび、本学に特定一種病原体等の譲渡が可能な外国機関との間で、搬入に向けた具体的な調整を進めることといたしましたので、まずはこの地域連絡協議会にご報告申し上げます。

〇搬入を予定しております病原体は、感染症法に基づく特定一種病原体等である南米出血熱ウイルス、ラッサウイルス、エボラウイルス、クリミア・コンゴ出血熱ウイルス、マールブルグウイルスの５種類のウイルスです。

〇実際の搬入に当たりましては、近隣住民の皆様への説明を尽くした上ではありますが、今後、相手機関及び国内関係機関等との各種調整や手続きを進める必要があり、現時点で明言はできませんが、場合によっては１年程度を要するものと見込んでおります。

〇搬入に係る手続きが整いましたら、厚生労働大臣による病原体輸入に係る指定をいただき、感染症法に基づく病原体の運搬手続きを監督官庁と相談しながら進め、万全な手配を整えたうえで、適切な時期に搬入を進めてまいりたいと考えております。

〇病原体の搬入に係る具体的な事項につきましては、セキュリティ上の制約からお伝えできない事項もございますが、これまでと同様、この地域連絡協議会の場を通じて、可能な限り丁寧な説明に努めてまいりたいと考えております。また今後は大学ホームページへの掲載、大学キャンパス周辺のご家庭に本協議会開催の都度配布している「感染症ニュース」なども活用しながら、適時適切な情報提供を行ってまいりたいと考えております。

〇病原体搬入後は、名実ともにＢＳＬ－４施設が本格稼働することになります。本学としましては特定一種病原体等を用いた基礎研究、ワクチン開発などを目指した開発研究を行い、感染症対策に資する長崎発の成果を出してまいりたいと考えております。

〇病原体の搬入時期につきましては、まだ先のこととなりますが、今回、本学の計画をあらかじめご説明申し上げました。この計画に関しましては、様々なお考えやご懸念をお持ちの方もいらっしゃることと存じます。私どもといたしましては、まずは本協議会の場を通じて丁寧な説明を重ね、皆様方のご理解を深めていただけるよう努めてまいる所存です。皆様におかれましては、ご不明な点やご意見等がございましたら、どうぞ忌憚なくお聞かせいただければ幸いです。私からの説明は以上でございます。ご清聴ありがとうございました。